# 星空保護区®認定推進プロジェクト（岡山県・美星町）

## 日本初のIDA認証 光害対策型LED防犯灯で「星空保護区®」認定をめざす

岡山県井原市美星町は周辺に人工光が少なく、自然環境にも恵まれていることから天体観測の好適地として知られる。1989年には日本初の光害防止条例が制定され、星空保護の先進地区となった。2019年3月、美星町観光協会は井原市の協力のもと、国際ダークスカイ協会（IDA）※1の「星空保護区®」※2認定取得をめざすことを決定。しかしここで、蛍光灯の頃から課題となっていた、町内の白色防犯灯による光漏れのため、星が見にくくなっていることが問題となった。「美しい星空の保護を進めるとともに、まちのブランド価値を向上して住民の誇りと一体感を醸成したい。上方光束率0%で色温度が3,000K以下という『星空保護区®』認定の要件を満たし、安全も両立する防犯灯を求めた」と井原市未来創造部の藤岡 健二氏は語る。

美星町観光協会はIDAの認証を取得したパナソニックの光害対策型LED防犯灯※3を採用、約400基が順次取り替えられる予定になっている。また、今後、自治体を認定対象とする部門の「星空保護区®」認定取得をめざす。

美しい星空を観光資源としたさまざまな地域振興が展開されようとしている。

※1 国際ダークスカイ協会（IDA）
光害問題に対する取り組みにおいて、世界的に先導的な役割を担うNPO団体。米国に本部があり、世界18カ国に60以上の支部を有する。

※2 星空保護区®認定制度
光害の影響のない、暗く美しい夜空を保護・保存するための優れた取り組みを称える制度。認定には、屋外照明に関する厳格な基準や、地域における光害に関する教育啓発活動などが求められる。

※3 2020年1月、パナソニックの光害対策型LED防犯灯・道路灯が日本メーカーで初めてIDAの認証を取得。

所在地／岡山県井原市美星町
事業主／美星町観光協会

ウェブサイトでもご覧いただけます

©美星天文台

©岡山県井原市 未来創造部

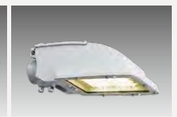
1.防犯上で必要な光の広がりを確保しながら上方光束率を0%に抑えたIDA認証取得光害対策型LED防犯灯
2.晴天が多く、大気の揺らぎも少ない美星町では星が観測しやすい。 3.星空保護の啓発活動の一つとして町内に設置されたのぼり

上方への光漏れがある白色LED防犯灯

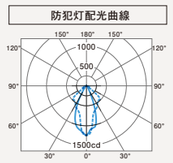
IDA認証取得光害対策型LED防犯灯

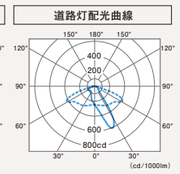
### IDA認証取得光害対策型LED照明器具

防犯灯



道路灯




### これまでの生態系・天体に配慮した光害対策への取り組み

| | | |
|---|---|---|
| 1984年 | コアラの活動が観察でき、コアラの習性に合わせた照明環境を演出制御。 | 多摩動物公園コアラ館 |
| 1990年 | 夜行性小獣の生態に合わせ、観覧ができるよう、獣舎の照明を昼夜逆転。 | 東山動植物園/自然動物館 |
| 1999年 | 不要な光を遮ることで稲作への光害対策や省エネを実現。 | 福岡県筑紫野市 |
| | 日本一星がよく見える里の上方への光漏れを防ぎながらサインとしてのあかりを実現。 | 岩手県衣川村 |
| 2004年 | 近隣の天文台での天体観測に配慮した、グラウンド照明。 | 佐用町立佐用中学校グラウンド |
| 2006年 | 光害対策ガイドライン（平成18年12月改訂版）環境省 環境街作り検討会光部会に参画 | 環境省 |
| 2008年 | ホタルの生態に負荷をかけず、共同住宅の住民が安全に利用できる歩道照明。 | 大阪府 URアルビス緑丘 |
| 2009年 | コケの発生を抑えつつ、「鍾乳洞」をLED照明でライトアップ。 | 岩手県 龍泉洞 |
| 2016年 | ビオトープ「光の森」のホタル飼育エリアにホタル配慮照明器具を設置。 | 東京ガーデンテラス紀尾井町 |
| 2017年 | ホタルに影響を与えにくい波長特性、光学特性をもつLED街路灯で、地域の魅力づくりに貢献。 | 神奈川県逗子市 |